

身近な区民の代弁者として、皆さまに千代田区政の動きをお知らせしていきます

第25号
令和4年
春



千代田区議会 自由民主党

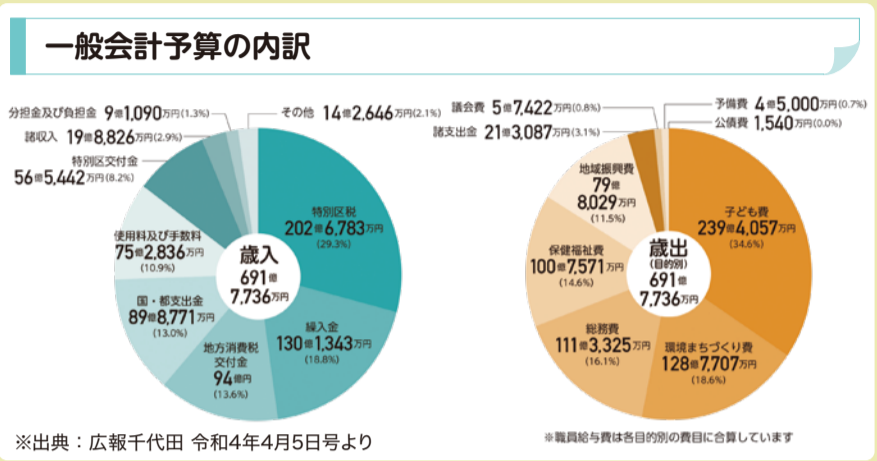
池田とものりの区政レポート

令和4年度予算
～賛成多数により可決!～

▶ 令和4年度予算 ～賛成多数により可決!～ ◀

樋口区長に代わって初めての予算編成は、一般会計691億円、一人あたりの予算額が103万円と当初予算規模としては過去最大となりました。

予算特別委員会では3つの分科会を設置、各部門で詳細な調査を行いました。コロナ禍での感染拡大予防のため、統括質疑での答弁理事者の入れ替えを減らして各会派からの質問に対応、効率よく進行できました。当会派からは、ひきこもり対策の拡充、敬老会の実施計画、児童・家庭支援センター・教育研究所の現状と課題の把握、地域コミュニティ醸成支援、喫煙所設置対策などの取り組みを取り上げ、引き続き区民生活をしっかり支える予算であることを確認しました。全議員による採決の結果、賛成多数で可決しました。



令和4年度予算の4つの柱



- 1 「DXの推進や業務の効率化」に向けて
- 2 「ウォークブルなまちづくりで『つながる都心』の実現」
- 3 「2050ゼロカーボンちよだ」をめざして
- 4 「区民の命と健康を『まもる』取り組み」
「生活を『ささえる』取り組み」
「明るさや賑いを『つくる』取り組み」をすすめる

委員長報告

～保健福祉委員会に審査を付託された3つの議案～

議案第15号「千代田区介護保険条例の一部を改正する条例」

4月に保険料を仮決定する暫定賦課をなくし、住民税決定後の7月に保険料の年額を確定する確定賦課のみにする。7月から翌年3月までの9カ月間で年度分の保険料を支払ってもらうよう改める(賛成全員で可決)

議案第19号「東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について」

2年に一度の後期高齢者医療保険料の見直し、決定にあたり、保険料軽減対策を行うために広域連合規約を一部変更する(賛成多数で可決)

議案第20号「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」

国民健康保険の安定的運営のため、令和4年度に保険料の改定を行う。令和4年度も引き続き、特別区の統一保険料ではなく本区独自の保険料を設定する。(賛成多数で可決)

「IAUD国際デザイン賞2021」にて金賞を受賞

区内の障害者就労施設のうち、障がいのあるバリスタや焙煎士が活躍するロースタリーカフェ併設のB型就労施設『ソーシャルグッドロースターズ』が「IAUD国際デザイン賞2021」の金賞を受賞しました。障害者雇用が抱える課題解決、インクルーシブな職場の実現などが評価され、SDGs 17の目標のうち「1 貧困をなくそう」「3 すべての人に健康と福祉を」「8 働きがいも経済成長も」「10 人や国の不平等をなくそう」「12 つくる責任つかう責任」への貢献も認められました。引き続き、利用者に寄り添った就労支援を所管の委員長として切望します。おめでとうございます。



賛成多数とは?

委員会で全員が賛成した場合はそのまま確定しますが、賛成多数(一人でも反対があった場合)となると、本会議場において全議員で投票し賛否を問います。議案19号20号は本会議場で採決し賛成多数で可決しました。

これまでの一般質問から具現化されてきたこと

公衆・公園トイレの整備

池田

きっかけは立ち寄った公衆トイレの不快さを担当課に再三申し出ても、中々整備が進まなかったことです。外観も含め誰もが利用しやすい快適な空間を求めてきました。



一般質問で取り上げてから実態調査が始まり、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて行われたリフレッシュ工事の一環として、多機能トイレを含む32カ所の公衆・公園トイレをリニューアルしました。皇居ランナーやタクシードライバーをはじめ誰もが安全・安心・快適に利用しやすくなりました。

食を通じた千代田の取り組み

池田

青果業や果実販売・飲食店を家業としてきたこともあり、区議となっても、食の大切さと食品ロス削減の推進を中心にこれまで取り組んできました。



食を通じた本区の取り組みについて複数回登壇し、質問してきました。前述したとおり、質問をきっかけとして学校給食で20年ぶりに牛肉を提供できました。

食については、孤食の解消、多世代交流事業、大使館を通じた食文化の学び、学校給食の充実、防災備蓄品の活用、フードドライブの推進、飲食店への支援など課題は多岐に渡っています。質問の趣旨により所管する部が異なるのは仕方ありませんが、食品ロス削減推進法が成立したこともあり、さらに積極的な取り組みが求められています。目下、食に関する専門的な部門の設置を提案しているところです。今後も元調理師としても食の大切さを伝えてまいります。

障害児支援の拡充を求めて

池田

利用する家庭が増えている児童発達支援事業所を訪問したことから、こうした事業所を拡充していくと同時に、重度・重症心身障害児の受け入れ体制のある事業所の必要性を実感しました。



区内には児童福祉法のサービスである児童発達支援事業者が2カ所、放課後等デイサービス事業所が3カ所ありますが、重度・重症心身障害児等を受け入れる十分な体制ができていませんでした。これらの児童が身近な地域で支援を受けられるように、障害特性や発達状況を踏まえた専門的な指導の提供、保護者へのサポート等を行える通所支援事業を提供する体制の確保が図られました。

対象となる事業者を選定し、子どもたちが安心して過ごせる場を用意するための補助を行っています。喫緊の課題は、利用者が増加傾向にある児童・家庭支援センター、さくらキッズ、教育研究所などの施設環境の整備です。

20年ぶりの復活!!



昨年4月、当時所属していた地域文教委員会で学校給食での牛肉使用について質問したところ、狂牛病の影響で使用を自粛してきたことが明らかになりました。国産牛の安全が担保され使用が再開されてからも、23区では千代田区だけが今日まで解除されていないこともわかりました。コロナ禍で国産牛肉の消費に深刻な影響が及ん

だため、農林水産省が学校給食での使用を推進していた時も、千代田区だけが自粛したままでした。その後当会派からの一般質問等で指摘したことにより今年の2月9日を「牛肉の日」として20年ぶりに給食に提供されました。今後も栄養バランスが考慮された楽しい給食が続くことを期待しています。



公式ホームページでも最新の活動を随時配信中です！ www.ikedatomonori.net

池田とものりPROFILE 「保健福祉委員会」(常任委員会)委員長 「環境・まちづくり特別委員会」 「議会のあり方調査検討特別委員会」 「議会運営委員会」

TOKYO 自民党政経塾第10期生

自由民主党千代田区第十六支部支部長

平成27年4月 千代田区議会議員選挙 初当選(747)

平成31年4月 千代田区議会議員選挙 第2期目当選(726)

★昭和44年10月28日、麹町で生まれる ★昭和51年 麹町保育園卒園 ★昭和57年 麹町小学校卒業 ★昭和60年 麹町中学校卒業 ★昭和63年 日本大学第二高等学校卒業

★平成4年 日本大学商学部会計学科卒業 ★平成6年「フルーツエリア鶴」に就職、祖父鶴三、父清の後に継ぎ、三代目つるさんに ★平成20年度・21年度 麹町小学校PTA会長

★平成25年～平成29年 共立女子学園後援会副会長 ★平成29年度・30年度 共立女子中学高等学校PTA会長 ★元共立女子中学高等学校後援会会長

現在 有限会社八百鶴商店 取締役 ★平成15年～26年・30年～ 千代田区スポーツ推進委員 ★千代田区ドッチビー協会会長 ★千代田区相撲連盟顧問

★千代田区ラグビー・フットボール協会理事 ★初級障がい者スポーツ指導員

(趣味)けん玉(初段)「連続大皿成功ギネス記録達成126人の一員(紅白歌合戦出場)」・ボウリング・ドッチビー(指導・審判員資格取得)



池田とものり事務所 〒102-0071 千代田区富士見2-15-8-902
TEL:090-1254-2709 mail:ikedatomonori.turu@gmail.com